

# 令和3年市町村広報コンクール審査票(広報写真の部)

○写真の名称 心を通わせて

広報しょうわ 10月号

## 評価された点

- ・やりとりする生徒とおばあちゃんの自然な笑顔がすばらしく、タイトル通り「心を通わせて」いる様子が伝わる。広報紙の表紙として秀逸な写真だ
- ・「自分らしく生きる」という明朝体の落ち着いた大見出しを「認知症と向き合う」よりも目立つ扱いにしたことで、読み手にとっても「自分ごと」で「自然」で「当たり前」のことなのだ伝わり、じんわりと胸に響く構成になっている
- ・充実した内容が記された中面の特集へと自然にページをめくりたくなるような、読者をうまく誘導する優れた「扉」になっている点が光る
- ・表情、トリミング、構図いずれも申し分なく、特集テーマを象徴する表紙となった
- ・「認知症と向き合う」という重いテーマでありながら、明るく希望を持って病気とともに生きていこうという特集内容が凝縮され、村民を元気づけるような一枚に映った
- ・お年寄りの何とも楽しそうな表情と中学生のはにかみながらも懸命に意思疎通を図ろうとする表情がそろった貴重な瞬間をとらえた。高齢者対策を文字で説明するのは簡単だが、一枚の写真で行政が何を目標しているのか、その精神を表現できている写真で、高く評価できる

# 令和3年市町村広報コンクール審査票(広報写真の部)

○写真の名称: 上手に手洗いでできるかな?

広報みどり 6月号

## 評価された点

- ・新型コロナウイルスという重い課題について、1人の少女が小学校で手洗いするというごく日常の風景を切り取ることで、コロナ以前とは生活が一変したことを象徴的に示すことに成功した
- ・このような写真はカメラ目線の記念撮影かテーマが絞り込まれていない雑然とした写真になりがち。対象を一人に絞り、変にポーズや背景をつくらせることなく撮影し、戸惑いながらもコロナ対策に取り組む決意を感じさせる少女の表情をとらえた一枚を表紙に選択したセンスは高く評価できる
- ・市民にも理屈でなく、感情でコロナ対策の大切さをアピールできる写真になっている
- ・第一印象は、ほほえましい写真だが、見ているうちに「わたしもしっかりしないと」と気づかされるようなメッセージ性の強さを感じる作品。園児と語りながらの撮影によって、目力が出ている

## 令和3年市町村広報コンクール審査票(広報写真の部)

○写真の名称:ふうーっと、ひといき

広報おうら 7月号

### 評価された点

- ・カレーを食べようとする女児の表情が愛らしい。「ふうー」っと、ひといき。キャプションもあっている
- ・救給カレーは防災特集に関連しており、コロナで重苦しい社会状況の中で一息つくことを助けてくれる癒やしの写真
- ・防災特集に合わせた写真だが、ありがちな訓練風景など重たさがなく好感が持てた。子どもの表情もかわいくて癒やされたとの反響も分かる
- ・幼稚園でこういった取り組みがあることも知れて勉強になった